

中高の英語を変えるRadical Approach

～黒板とチョークをぶっ壊せ！～



未来の先生展
2017

ワークショップ形式

開催日時	2017年 8 月 27日（日） 12:30-14:00
場 所	武蔵野大学有明キャンパス1号館2F 208教室
発表者	西山哲郎

ここが注目！

入試改革なんて待てられない。古い枠組みに子供たちを押し込めず、正解のない問いを自由に考える英語授業の実践事例、そしてアジアNo.1の英語力を中高で涵養する新しい時代のRadicalなアプローチを紹介。

内容

旧枠組みから解き放たれた英語授業

一斉授業、文法訳読など教員が一方的に日本語を話す従来の授業ではなく、英英辞書、多読、スピーキング、ジグソー、ディベート、プレゼンなど生徒たちが英語を運用できる活動を積極的に取り入れる学習者主体の学びが保証された指導法、授業展開を追求する。

オーセンティックな英語に触れて

内容、分量の薄い教科書や市販の問題集にのみ授業時間を費やすのではなく、欧米の学生が使用しているような海外のテキストや生素材を通して、本物の英語に当たり前のように触れることで中高6年間の授業と家庭学習で高いレベルの英語力が身につくことを証明したい。大学入試レベルを越えた語学力の伸長を。

先生の役割

教員が説明する時間は極力短くし、話す・聞く・読む・書くの4技能の向上に焦点を当てた活動のファシリテーションに徹する。

生徒たちがいきいきと英語の運用能力向上に集中できる雰囲気づくりが何よりも大事。

また、生徒たちのよきロールモデルであることも彼らの語学力向上にとっての不可欠な要素であるため、教員自身も英語力の向上に惜しみない努力を続けるべきである。



古い枠組みから解き放たれる自由な教師と生徒をイメージしています。